

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【西本町一、二丁目町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
- ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
- ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
- ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
- ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
- ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
- ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
- ・町内会は、毎年 1 回、津波などに備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
- ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

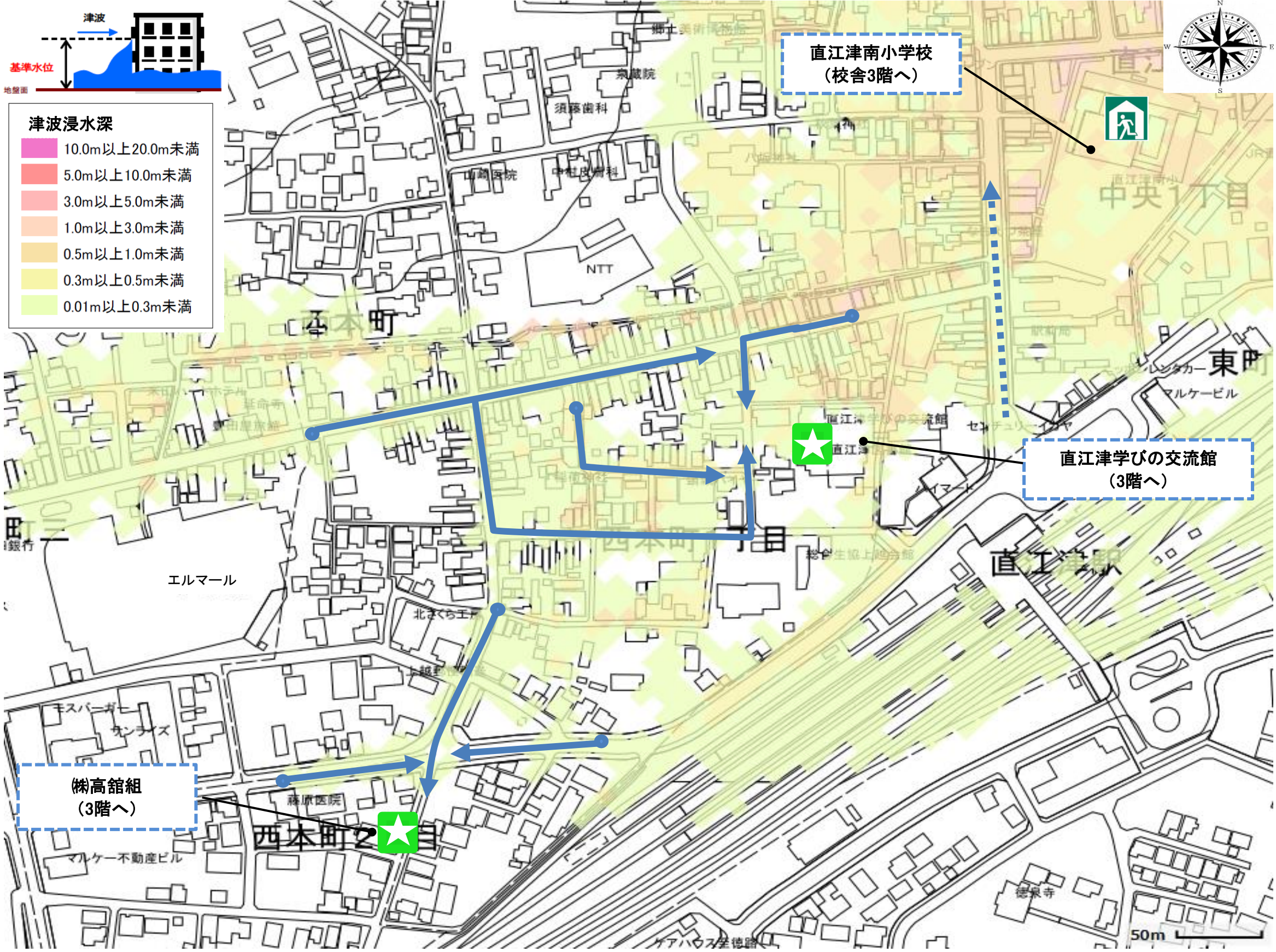
2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点又は指定緊急避難場所兼指定避難所に向かいます。 ○避難目標地点 ・直江津学びの交流館（3 階） ・(株)高館組（3 階） ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・直江津南小学校（校舎 3 階） 4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

直江津区関川左岸地域

避難行動計画【西本町一、二丁目町内会】

避難経路図



地域の情報	
指定緊急避難場所兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
避難目標地点	
避難上の注意点	
○ 避難目標地点	
・ 直江津学びの交流館(3階)	
・ 高館組(3階)	
○ 指定緊急避難場所兼指定避難所	
・ 直江津南小学校	
○ 避難行動の流れ	
・ 避難目標地点又は指定避難所を目指し、避難行動を開始する。	
・ できるだけ小道は通らずに、徒歩で大通りを通して避難する。	
・ 自宅での垂直避難も有効である。	
・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。	
○ 緊急持出品	
・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。	
・ 指定緊急避難場所での、長期避難に備え、携帯ラジオなどの情報入手手段、非常食、防寒具を携帯し避難する。	

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【西本町三丁目町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
- ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
- ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
- ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
- ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

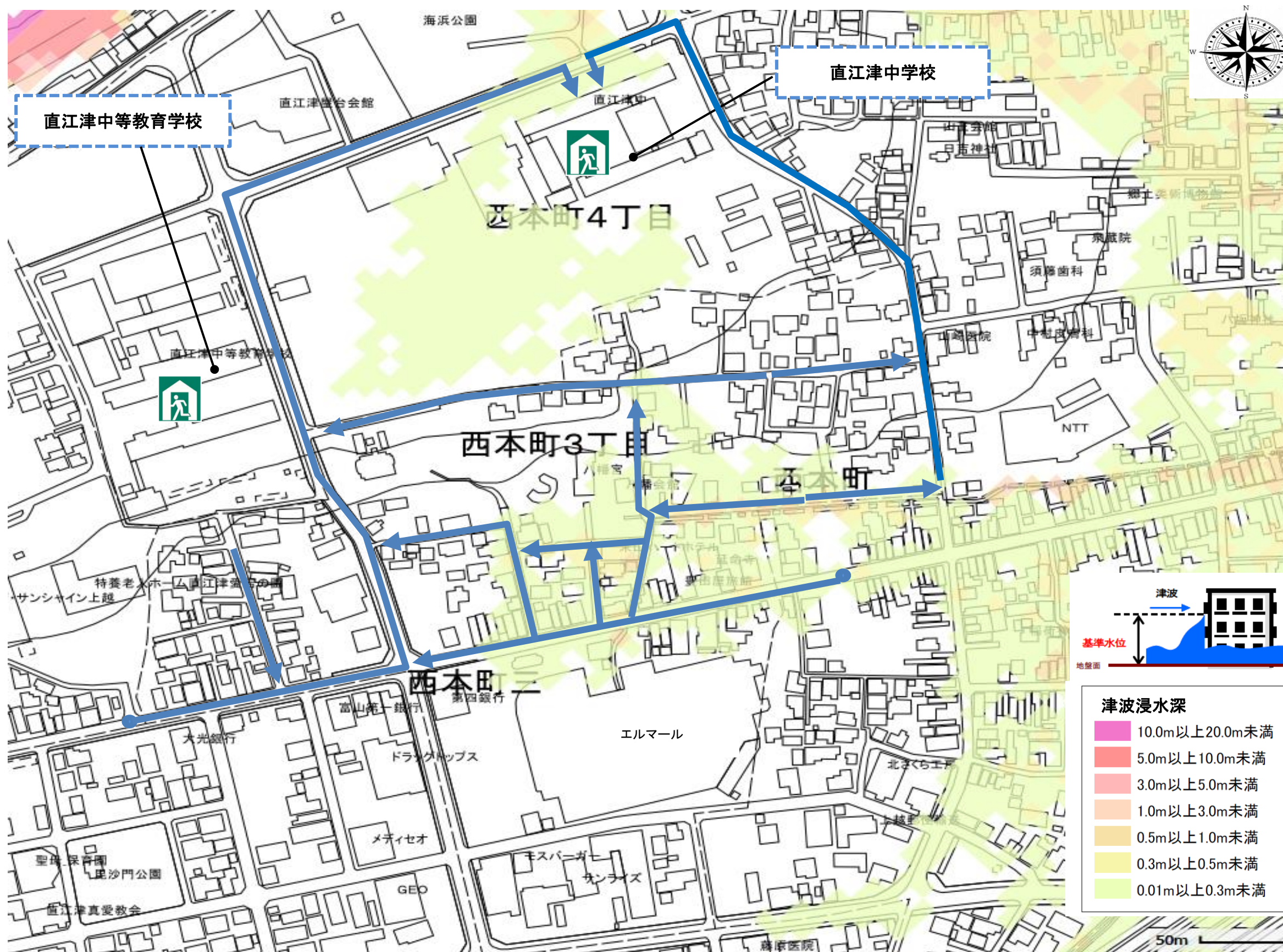
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
- ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
- ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
- ・町内会は、毎年1回、津波などに備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
- ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、指定緊急避難場所兼指定避難所に向かいます。 ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・直江津中学校 ・直江津中等教育学校 4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【西本町三丁目町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
避難目標地点	

避難上の注意点

- 指定緊急避難場所兼指定避難所
 - ・ 直江津中学校
 - ・ 直江津中等教育学校
- 避難行動の流れ
 - ・ 指定緊急避難場所兼指定避難所を目指し、避難行動を開始する。(別地点を設けない)
 - ・ 徒歩による避難を原則とする。
 - ・ できるだけ小道は通らずに、大通りを通して避難する。
 - ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
- 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。
 - ・ 指定緊急避難場所での、長期避難に備え、携帯ラジオなどの情報入手手段、非常食、防寒具を携帯し避難する。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【西本町四丁目・御幸町町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

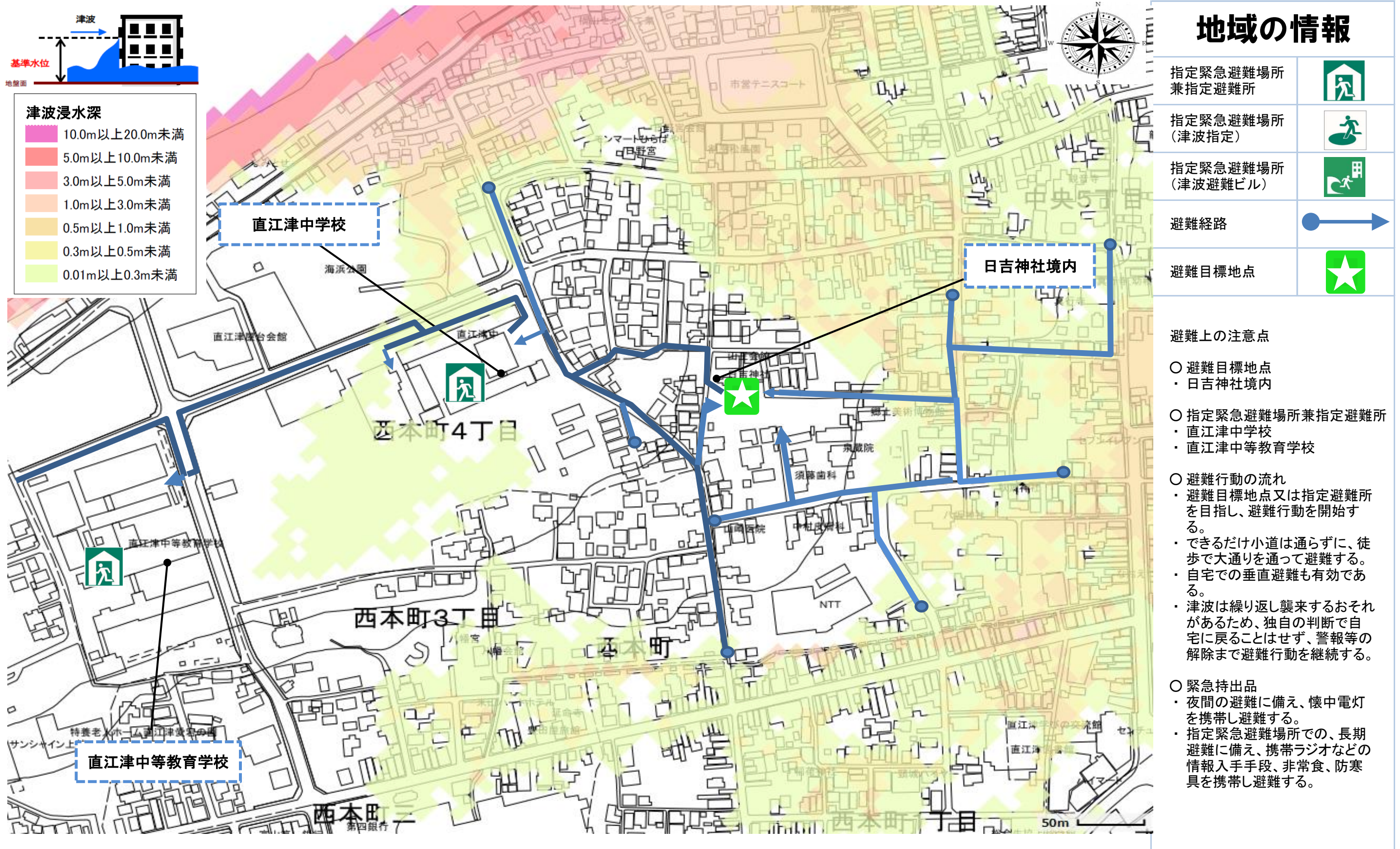
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年1回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点又は指定緊急避難場所兼指定避難所に向かいます。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○避難目標地点 ・日吉神社境内
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・直江中学校 ・直江津中等教育学校
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【西本町四丁目・御幸町町内会】 避難経路図



直江津地区関川左岸地域 避難行動計画【住吉町町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。（マイ・タイムラインの活用）
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

(2) 地域(町内会)で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と要支援者近隣者への周知、個別計画の作成推進を図る。
- ⇒ 避難経路の点検や除雪
 - ・地域の避難経路での危険箇所の改善や、冬期では避難経路の除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、迅速な指定緊急避難場所への避難を徹底したうえで、各世帯での毎年1回ハザードマップ（災害予測地図）などの読み返しやマイタイムラインでの再確認をお願いし、防災訓練は行わない。（但し、町内会員から要望があった場合は、どのようなことを企画してほしいのかを聞いたうえで企画する。）

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動

- 1 揺れがおさまるまで身の安全を図る
原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。
- 2 家族や財産を守る
火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。
- 3 余震に注意し、避難の準備をする
室内でガラスや落下物から身を守るためにスニーカー等、靴底の丈夫な物を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。

(2) 津波に関する情報の入手方法

- 1 防災行政無線・上越市防災ラジオ
アラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
 - 2 携帯電話・スマートフォン
市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
- ※2023町内防災事業「みずから避難で命を守ろう」参照

(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装

- 1 動きやすく、安全な装備・服装
軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット、上着 等
- 2 非常用持出袋の中身
非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等
※季節毎に確認しましょう
- 3 貴重品や日用品
財布、携帯電話、病院からの薬 等

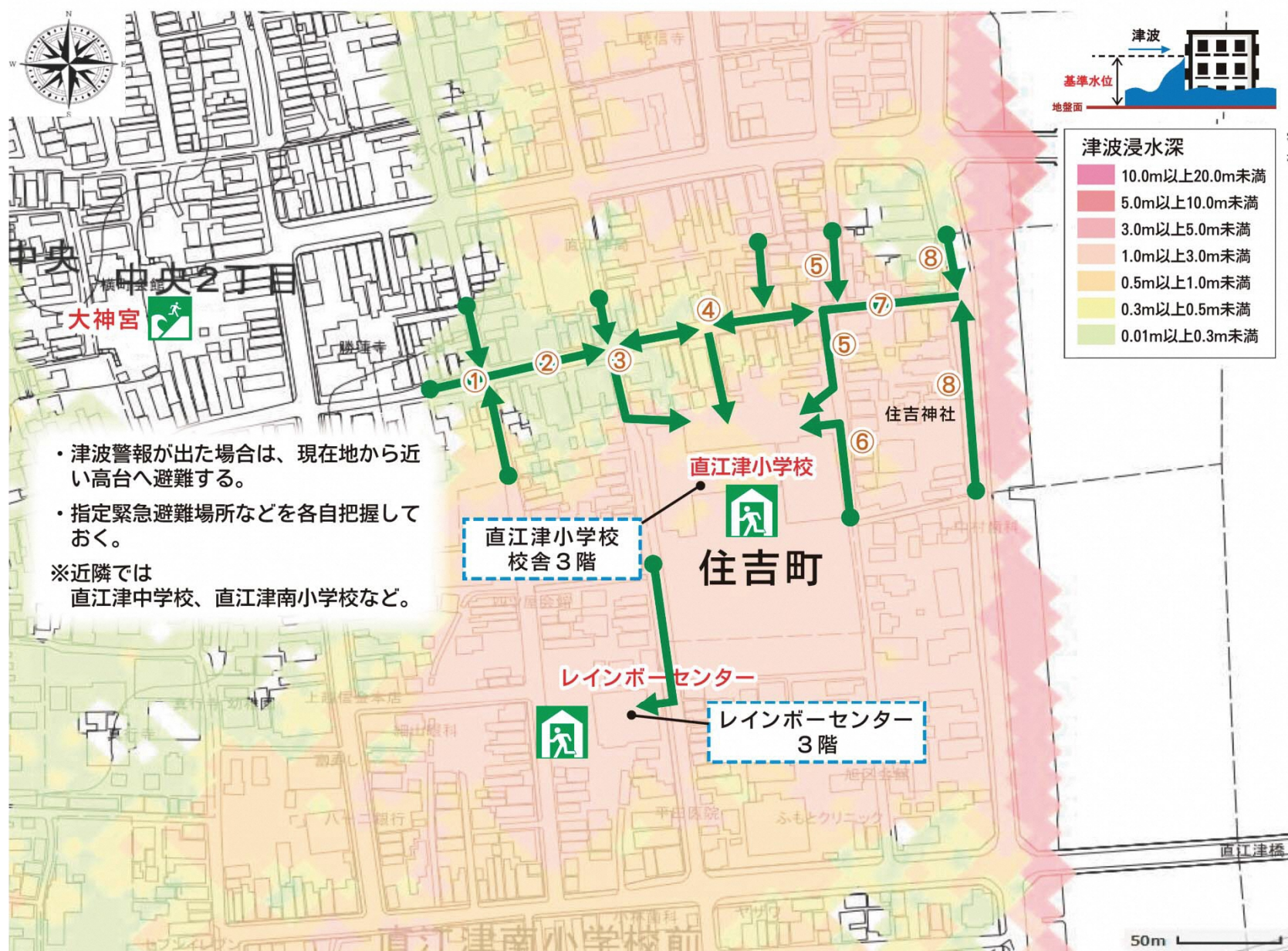
(4) 避難の方法・避難先

- 1 原則として徒歩で避難します。
- 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。
- 3 要支援者への協力をお願いします。
- 4 原則として、町内または地域ごとにあらかじめ定められた指定緊急避難場所に向かいます。
○指定緊急避難場所
・（第1）直江津小学校
・（第2）レインボーセンター
- 4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。
- 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。

(5) 避難行動要支援者の支援方法

- 1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。
- 2 要支援者名簿を町内会、防災士で共有しておきます。
- 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【住吉町町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (つなみ避難ビル)	
避難経路	
近くの 津波避難場所	

避難上の注意点

- 指定緊急避難場所兼指定避難所
・直江津小学校
- 指定緊急避難場所兼指定避難所
・レインボーセンター

立地と避難にかかる時間（10～15分）を考慮し、直江津小学校3階またはレインボーセンター3階へ避難する。

- 避難行動の流れ
 - ・避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・できるだけ小路は通らず、大通りを通して避難する。
 - ・津波警報等が解除されるまでは、独自の判断で自宅に戻ることはせず、避難行動を継続する。
 - ・避難所への避難が困難な場合で垂直避難する場合は、家屋2階以上での避難とし、その場合は必ず当該組長、防災本部長、情報伝達班班長のいづれかに連絡をする。

- 緊急持出品
 - ・各戸、災害準備品を持出す。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【東雲町一、二丁目町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
- ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
- ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
- ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
- ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

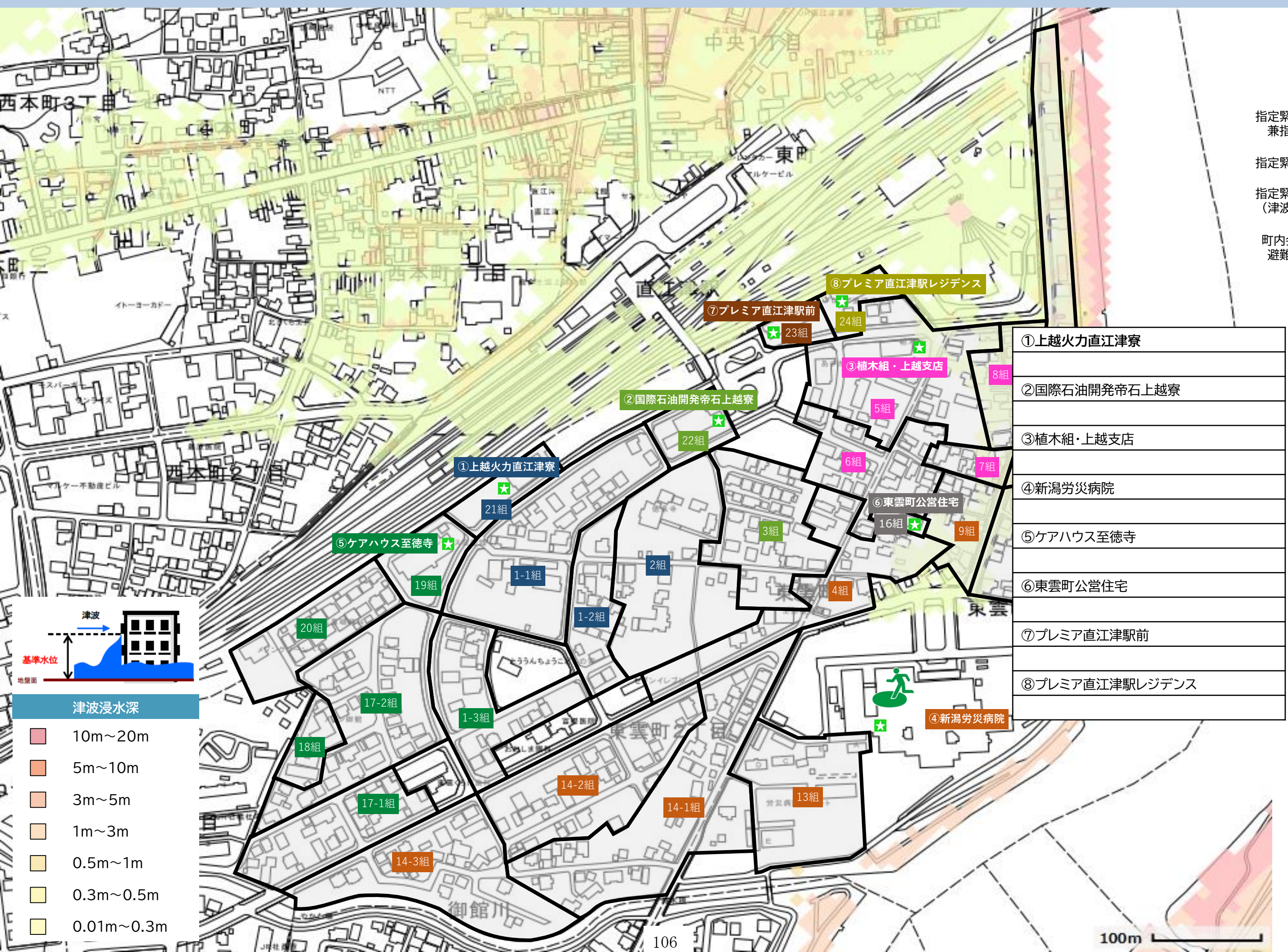
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
- ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
- ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
- ・町内会は、毎年 1 回、津波などに備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
- ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点（一次集合場所）又は指定緊急避難場所に向かいます。 ○避難目標地点（一次集合避難場所） ・上越火力直江津寮、国際石油開発帝石上越寮、植木組上越支店、新潟労災病院、ケアハウス・至徳路、東雲町公営住宅、プレミアム直江津駅前、プレミアム直江津駅前レジデンス ○指定緊急避難場所 ・新潟労災病院 4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

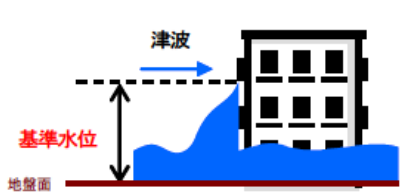
直江津区関川左岸地域 津波避難行動計画【東雲町一、二丁目町内会】避難経路図



地域の情報

- 指定緊急避難場所
兼指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 指定緊急避難場所
(津波避難ビル)
- 町内会が定めた
避難目標地点

①上越火力直江津寮
②国際石油開発帝石上越寮
③植木組・上越支店
④新潟労災病院
⑤ケアハウス至徳寺
⑥東雲町公営住宅
⑦プレミア直江津駅前
⑧プレミア直江津駅レジデンス



津波浸水深	
10m～20m	
5m～10m	
3m～5m	
1m～3m	
0.5m～1m	
0.3m～0.5m	
0.01m～0.3m	

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【五智二丁目町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

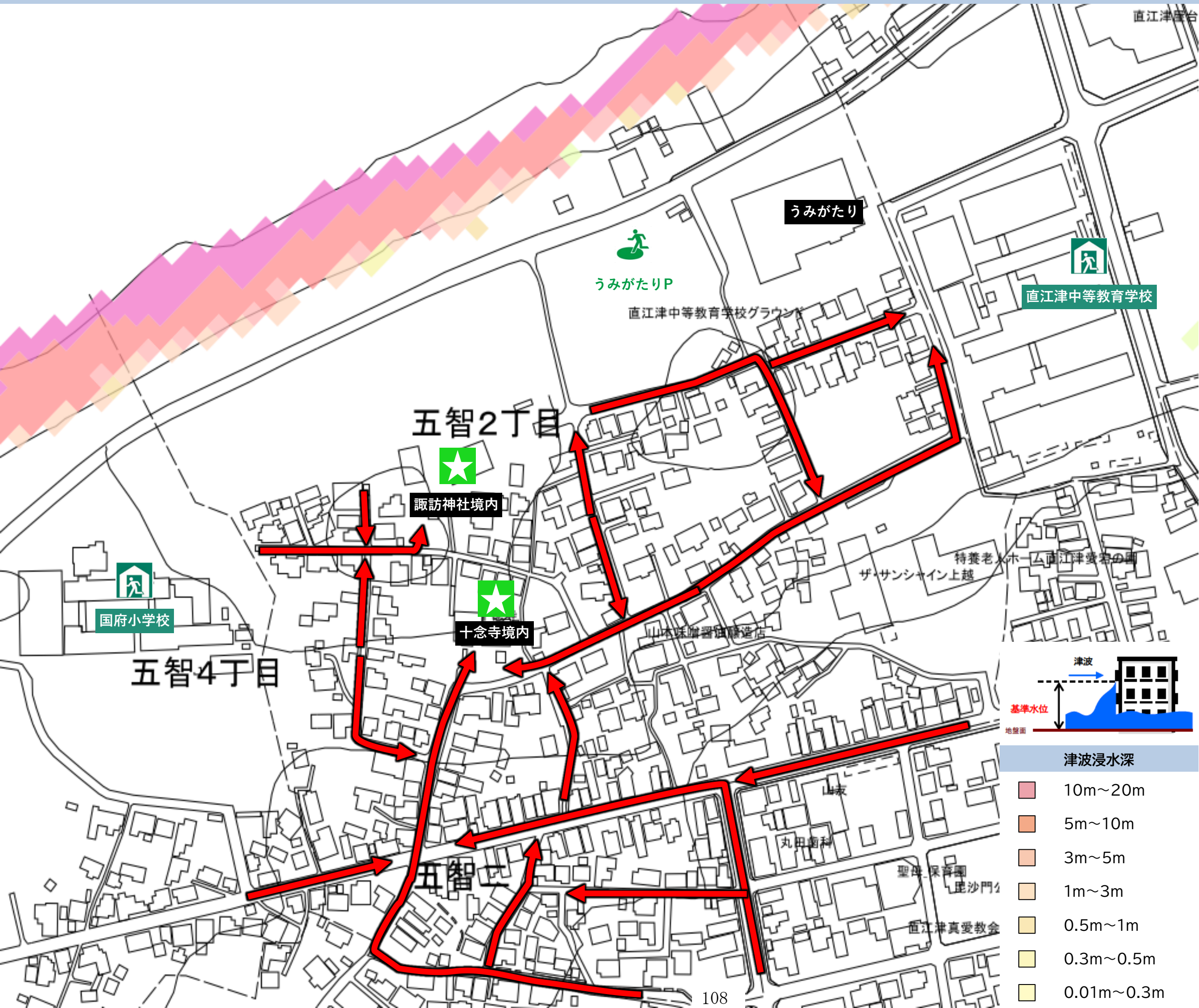
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年1回、津波等に備えた避難訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点を目指し、状況に応じて、指定緊急避難場所兼指定避難所に向かいます。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○避難目標地点 ・諏訪神社境内 ・十念寺境内
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・国府小学校 ・直江津中等教育学校
	4 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 5 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所
兼指定避難所



指定緊急避難場所



指定緊急避難場所
(津波避難ビル)



町内会が定めた
避難目標地点



避難上の注意点



指定緊急避難場所兼指定避難所

- 国府小学校
- 直江津中等教育学校

※津波発生時は、浸水想定区域外への避難を原則とする。



避難目標地点

- ・諏訪神社境内
- ・十念寺境内

避難行動の流れ

- ・避難行動は、徒歩によることを原則とする。
- ・避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
- ・できるだけ小道は通らずに、大通りを通して避難する。
- ・津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。

緊急持出品

- 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【五智四丁目町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
- ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
- ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
- ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
- ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

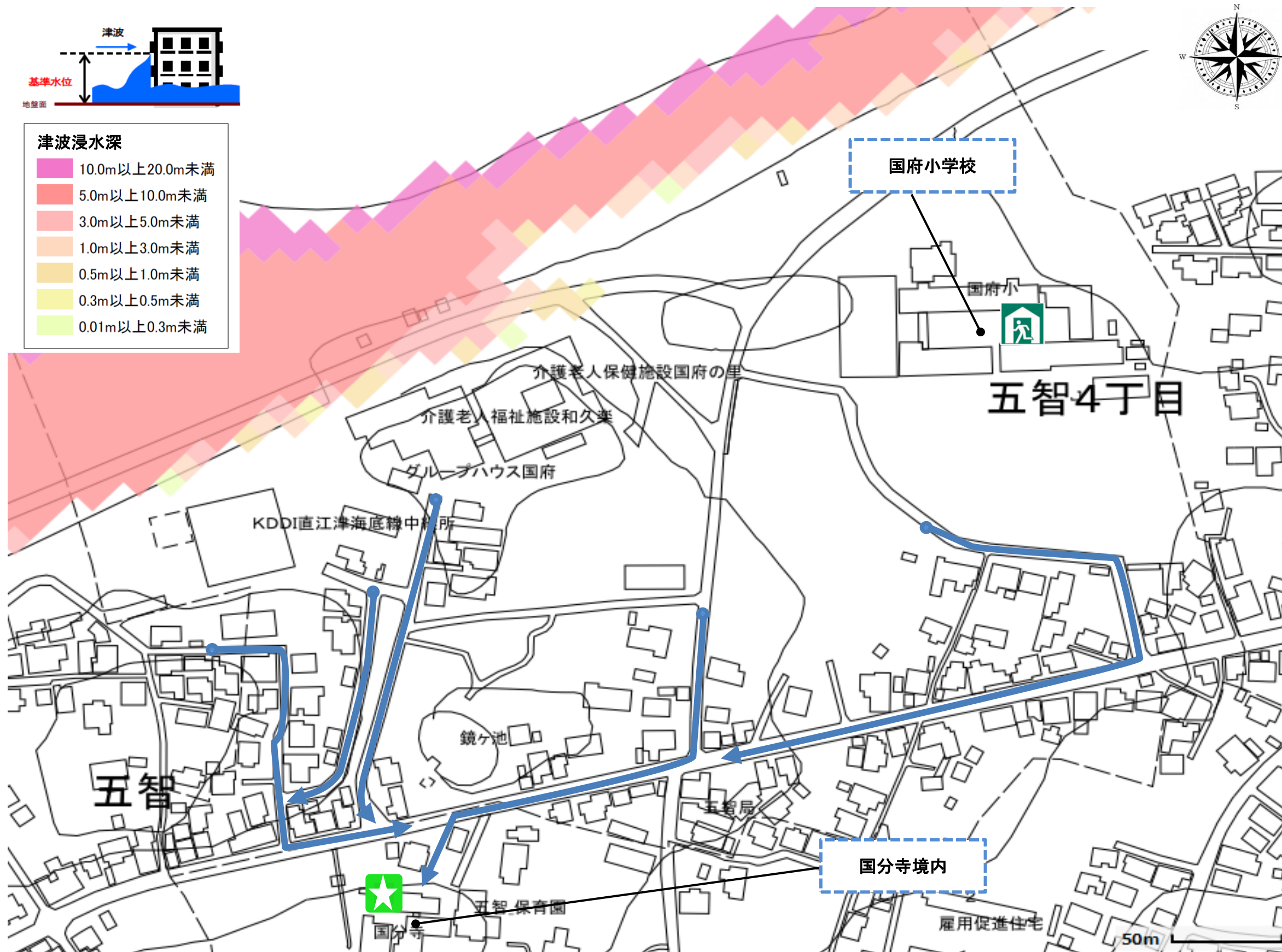
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
- ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
- ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
- ・町内会は、毎年 1 回、津波等に備えた避難訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
- ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点を目指し、状況に応じて、指定緊急避難場所兼指定避難所に向かいます。 ○避難目標地点 ・国分寺境内 ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・国府小学校 4 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 5 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【五智四丁目町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

- 避難目標地点
 - ・国分寺境内
- 指定緊急避難場所兼指定避難所
 - ・国府小学校
- 避難行動の流れ
 - ・避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
 - ・できるだけ小道は通らずに、大通りを通して避難する。
 - ・津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
- 緊急持出品
 - ・夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【五智五丁目町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

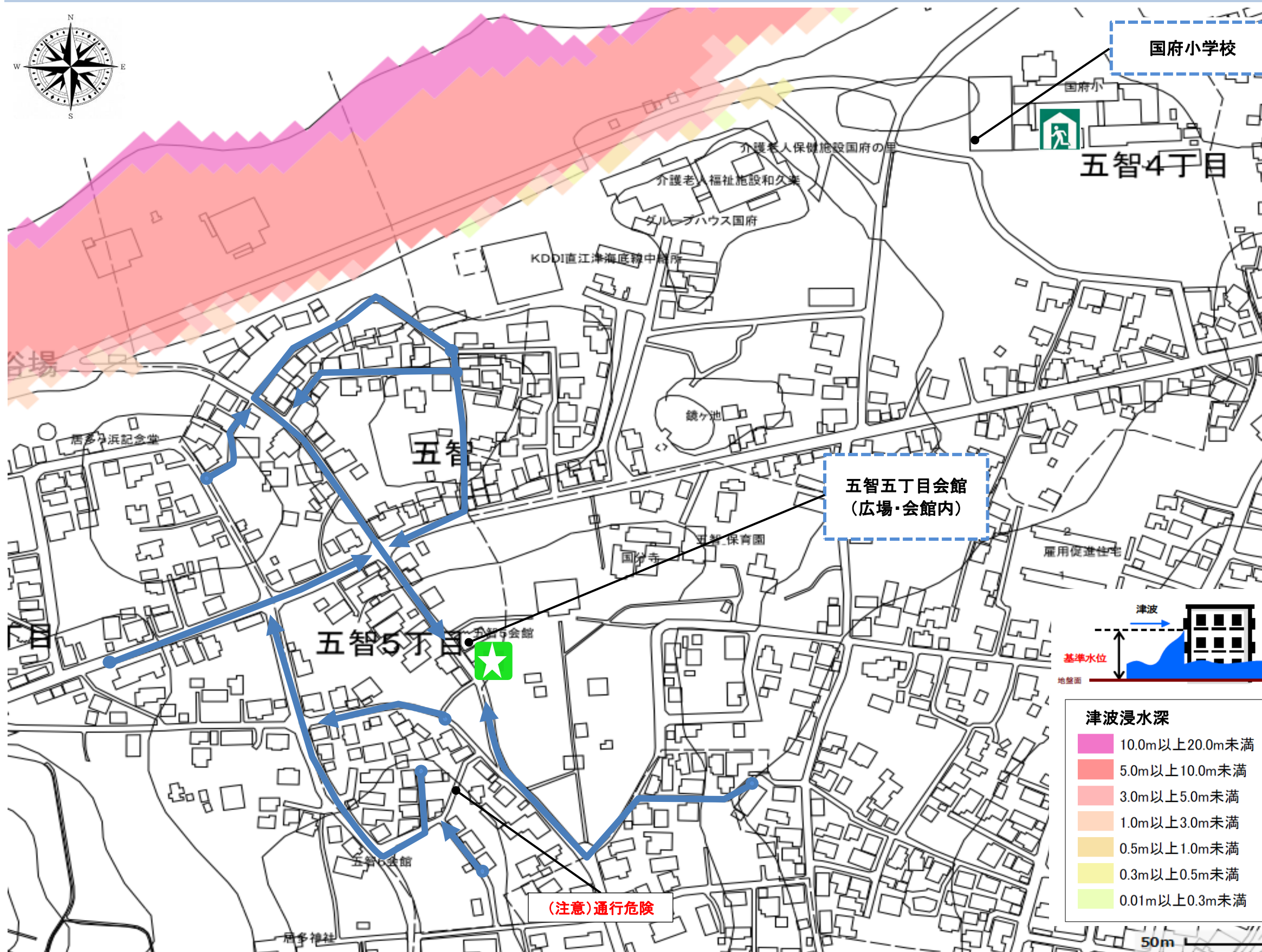
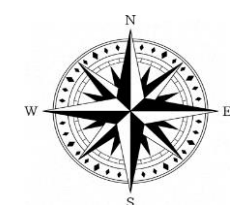
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年1回、津波等に備えた避難訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	3 町内会からのお知らせ 半鐘と各班の手ふりんで地震等の発生をお知らせしますので、避難行動を開始してください。避難時は、表示の旗を玄関先に出してください。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点を目指し、状況に応じて、指定緊急避難場所兼指定避難所に向かいます。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○避難目標地点 ・五智五丁目会館 ※各組で設定している集合場所に集合し、避難者を確認の上、町内会館へ避難する
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・国府小学校
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	4 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【五智五丁目町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

- 指定緊急避難場所兼指定避難所
・ 国府小学校
- 避難目標地点
・ 五智五丁目会館
- ※ 各組で設定している集合場所に集合し、避難者を確認の上、町内会館へ避難する
- 避難行動の流れ
 - ・ 火の元、電気、ガス等を確認する
 - ・ 避難時は表示の旗を玄関先に出す。
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
 - ・ 最短の経路を通行する。ただし、危険な箇所は通行しない。
 - ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
- 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【五智六丁目町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

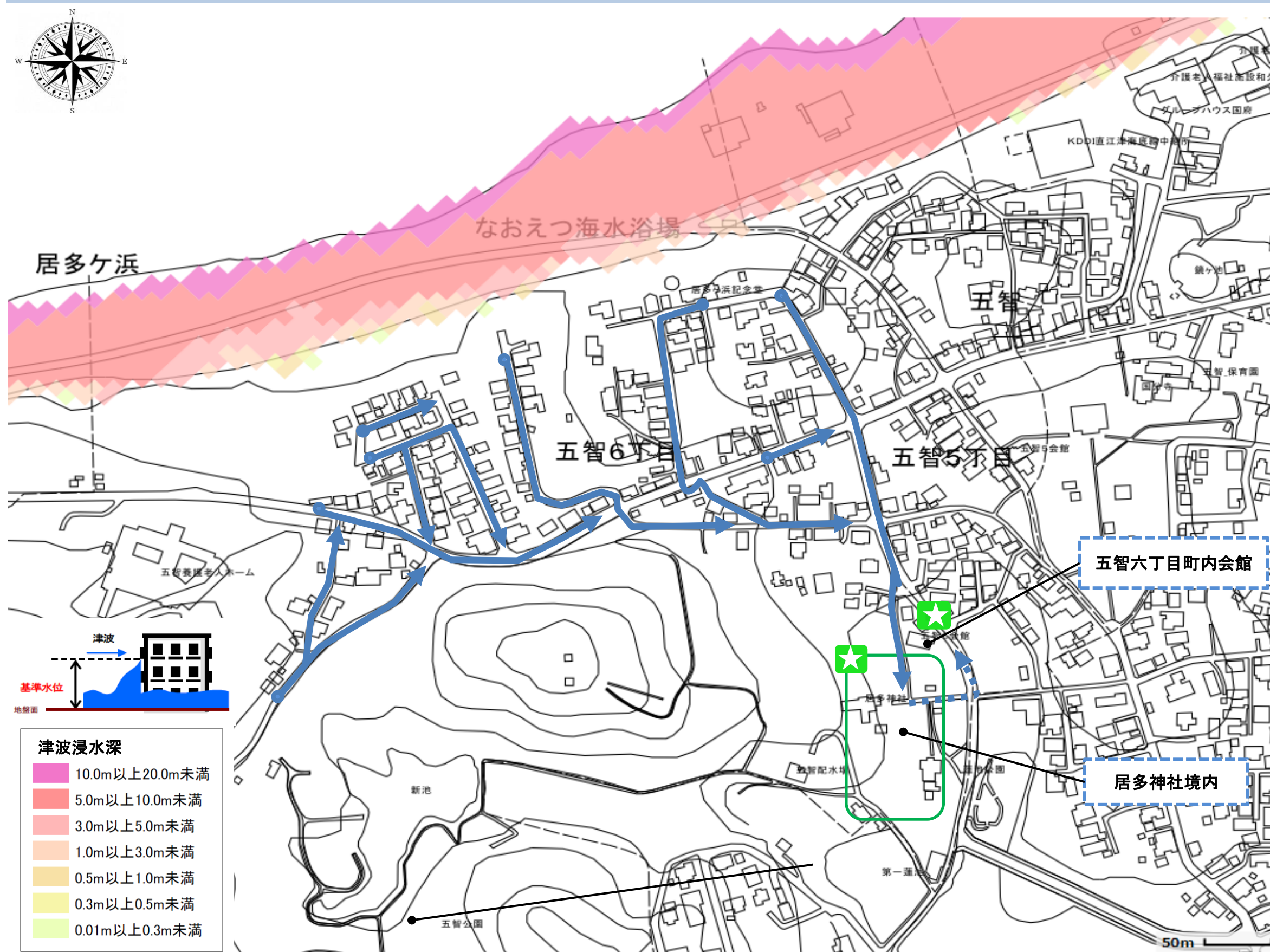
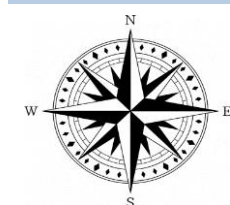
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年1回、津波等に備えた避難訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年1回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点（一次避難場所）を目指します。状況に応じて、二次避難所に向かいます。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○避難目標地点 ・居多神社境内（一次） ・五智六丁目町内会館（二次）
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	4 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 5 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

直江津区関川左岸地域 避難行動計画【五智六丁目町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所
兼指定避難所



指定緊急避難場所
(津波指定)



指定緊急避難場所
(津波避難ビル)



避難経路



町内会が定めた
避難目標地点



避難上の注意点

- 避難目標地点
 - ・ 居多神社境内 (一次避難場所)
 - ・ 五智六丁目町内会館 (二次避難場所)
- 避難行動の流れ
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
 - ・ 最短の経路を通行する。被害状況によっては、う回して避難する。
 - ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
- 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

津波避難行動計画【国府一丁目町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

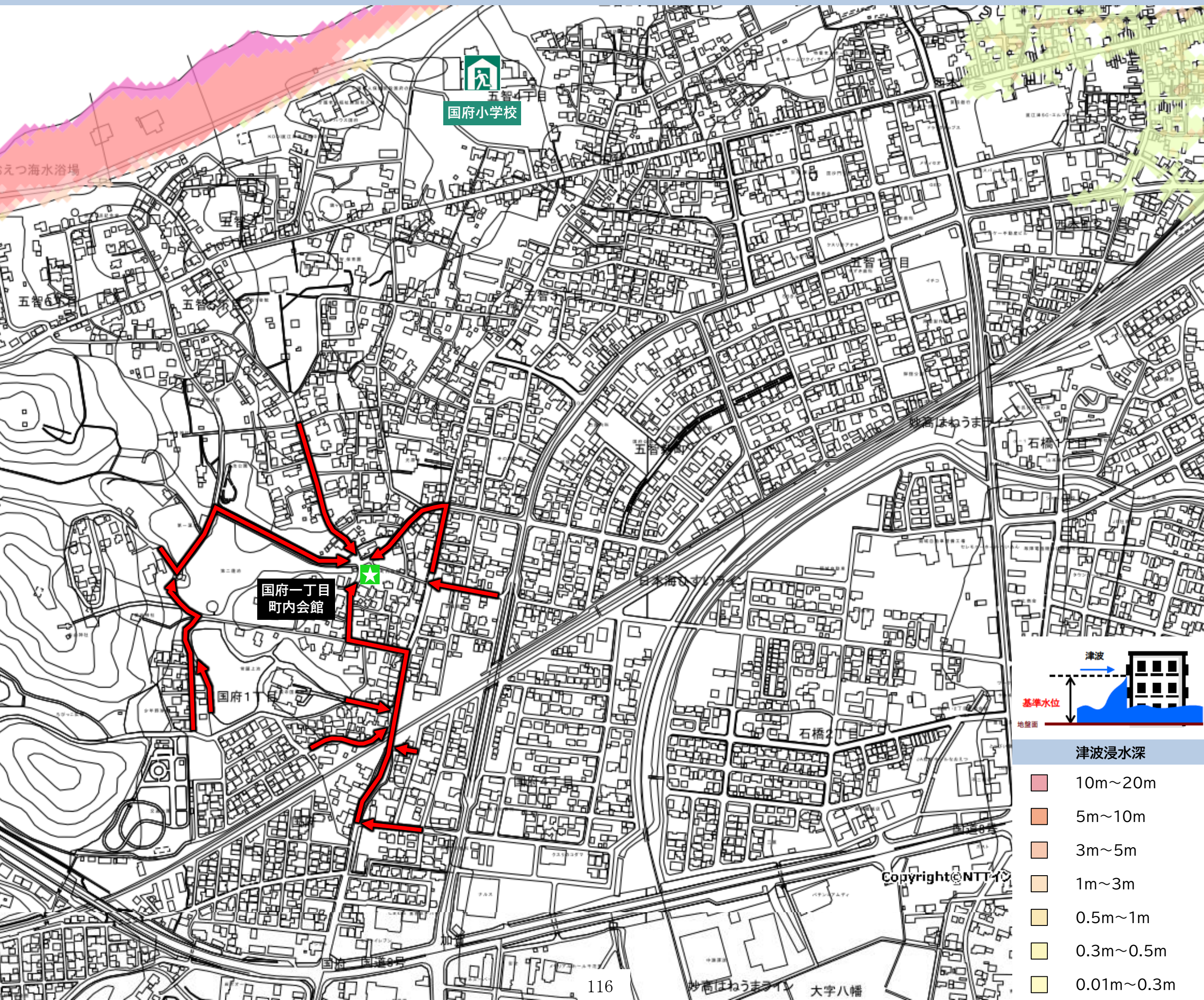
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波等に備えた避難訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点を目指し、状況に応じて、指定緊急避難場所兼指定避難所に向かいます。 ○避難目標地点 ・国府一丁目町内会館 ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・国府小学校 4 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 5 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

津波避難行動計画【国府一丁目町内会】避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所
兼指定避難所



指定緊急避難場所



指定緊急避難場所
(津波避難ビル)



町内会が定めた
避難目標地点



避難上の注意点



指定緊急避難場所兼指定避難所

- ・ 国府小学校

※津波発生時は、浸水想定区域外への避難を原則とする。



避難目標地点

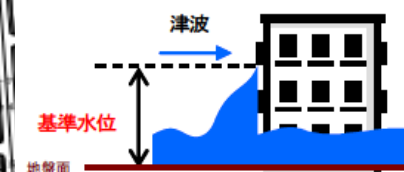
- ・ 国府一丁目町内会館

避難行動の流れ

- ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
- ・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
- ・ できるだけ小道は通らずに、大通りを通して避難する。
- ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。

緊急持出品

- ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。



津波浸水深

- 10m～20m
- 5m～10m
- 3m～5m
- 1m～3m
- 0.5m～1m
- 0.3m～0.5m
- 0.01m～0.3m

津波避難行動計画【国府二丁目町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・試験放送などで、防災ラジオが受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

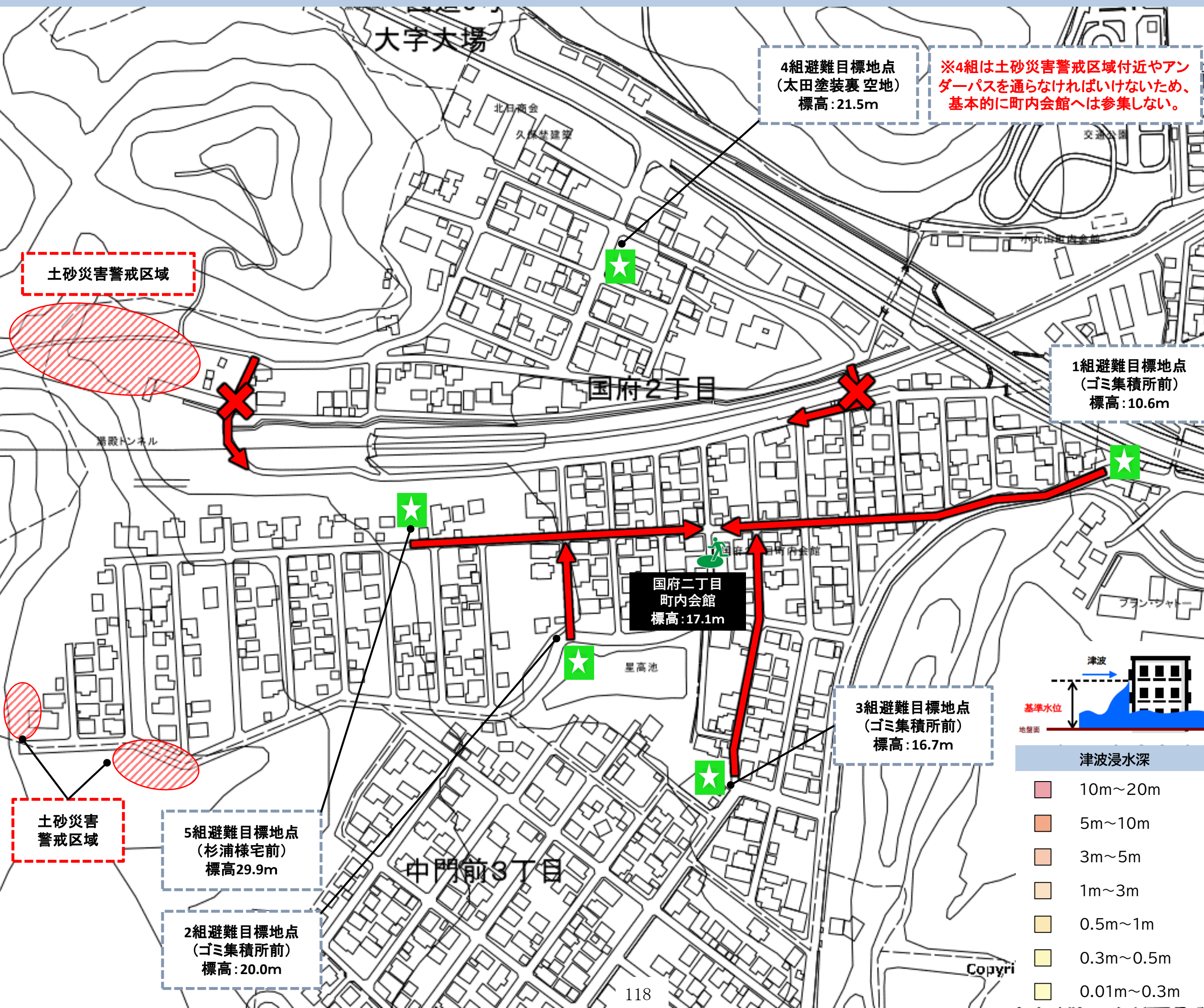
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波等に備えた避難訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	1 防災行政無線・上越市防災ラジオ Jアラートにより地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」で地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点を目指し、状況に応じて、指定緊急避難場所兼指定避難所に向かいます。 ○避難目標地点 ・国府二丁目町内会館 ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・国府小学校 4 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 5 浸水想定外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

津波避難行動計画【国府二丁目町内会】避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所
兼指定避難所



指定緊急避難場所



指定緊急避難場所
(津波避難ビル)



町内会が定めた
避難目標地点



避難上の注意点



指定緊急避難場所兼指定避難所

- ・ 国府小学校

※津波発生時は、浸水想定区域外への避難を原則とする。



指定緊急避難場所

- ・ 国府二丁目町内会館



避難目標地点



避難行動の流れ

- ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
- ・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
- ・ できるだけ小道は通らずに、大通りを通して避難する。
- ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。



緊急持出品

- ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。